

# 活動のようす

## あじさいの会

あじさいの会は「福祉」に  
関したボランティアグループ  
で年間を通し活動しています。  
主に小物作りですが、寄付し  
て頂いた材料を活かしてアイ  
デアを出し合い、和洋裁編物  
等それぞれ得意な分野で楽し  
みながら製作しています。汗  
と笑顔の作品は年一回町民祭  
に即売し、売上金を社会福祉  
協議会に寄付しています。今  
年度も20万円も寄付すること  
が出来ました。毎年買ってい  
ただく皆様に喜んでいただけ  
るよう、新しい作品作りに心  
がけています。またふれあい  
運動会等にも手伝いとして参  
加し、身障者の人達と交流も  
はかっています。なお小物作  
りは2月から第1第3火曜日  
にトレセンの和室で行ってい

ます。手芸好きの方、あじさ  
いの会の仲間になって活動し  
てみませんか。



## かがやく女性の会

私達各団体の代表二十三名  
は、女性活動先進地視察で岩  
舟町を訪問しました。岩舟町  
は平成七年に女性団体連絡協  
議会を発足させ身近な活動の  
推進としてゴミ問題に力を入  
れて来られたそうです。現在  
は十七団体が加入してその中  
にはコーラスや、人形劇の団

体などがあり、多彩な活動を  
していました。また今年度は  
在宅介護等の健康福祉活動に  
力を入れ、研修活動としてボ  
ランティア養成講座にも参加  
され独居老人の給食サービス  
等の実践活動も行なってきた  
そうです。岩舟町の各団体の  
活動を紹介された後、グルー  
プ別に分かれ意見を交換し合  
いました。  
岩舟町の女団連では活動  
の様子を独自でビデオに撮  
り多くの分野で活用してい  
る事には大変驚きました。  
また、「コスモスみんなのつ  
どい」と題して、よりよい  
ふれあいを求めて、バザー  
や自分達で作ったリフォー  
ムファッションショーなど  
を行なっている事も参考に  
になりました。昼にはけんち  
ん汁をご馳走になり、会長  
さんからは手作りの品を全  
員がいただくなど、心のこ



## 編集委員

- |       |       |
|-------|-------|
| 大関 礼子 | 鈴木 ヨネ |
| 黒崎 幸恵 | 田中ハマ子 |
| 小島 洋子 | 野澤 静子 |
| 小筆 公子 | 塙 テル  |
| 菅原 キン | 山本 妙子 |

ご意見・ご感想などお寄せいた  
だけたら幸いです。(委員一同)

平成13年 2月20日

# かがやき

## よりよいふれあいを求めて 芳賀町・岩舟町女性団体連絡協議会



## 芳賀町女性団体連絡協議会 広報紙第1号

- 主な内容**
- 芳賀町女性のつどい
  - 芳賀町女性団体連絡協議会総会
  - 男女共同参画社会に関する意識調査
  - かがやいています
  - 小さい声、大きい声
  - 活動のようす



平成十二年はミレニアム  
と言われて過ごした一年で  
ある。千年に一度しかない  
時に生を受けていた事に感  
概深いものがある。昨年を  
振り返ってみると、オース  
トラリアで開催されたオリ  
ンピックでは、日本女性の  
目覚ましい活躍が目玉され  
た。しかし、国内において  
は心の痛む悲惨な事件ばか  
りが目立った年でもある。  
年明けて平成十三年、二  
十一世紀はどのような世の  
中になるのだろうか。人権  
の世紀とも言われている。  
これまでの反省の上にたっ  
て明るく住みよい世の中  
になることが切望される。ど  
う計らっていくかは各々の  
心にかかっていることであ  
ろうが、ごく日常的なところ  
からその芽を育てていく  
ことが求められているので  
はないだろうか。

第七回

芳賀町女性のつどい

平成十二年十月二十八日(土)  
芳賀町民会館ホール  
演題 「今、子どもたちに何が起きているか」  
講師 西村 薫子さん

「子育ては何と大変なことだろう」昔は上の子をちゃんと育てておけば、下の子はその子を手本にして育っていきました。今のように少子になると、親が手作りで丁寧育てていかなければなりません。昔は食べる事は生きる事でしたが、今は食べる事は三次元の世界で、それは食材、栄養、文化だそうです。その文化は食卓を囲んで話題を提議しながら、お箸、お茶碗の持ち方、そしてきれいな食べ方などを教える事です。何事も生活というのは、経験のある人が折にふれ教えてあげる事だと思えます。子供を一人前の社会人に育てるためにも、家庭の食卓はとても大事な場です。



食えるというのは生きるための根源であり、本来のダイエットとは食事療法すなわち食事で体を調える、ということだそうです。子供の太っている事は問題ありませんが、大人の肥満は健康上いっしょ

影響が出てきます。体重は適性に保っておくのが大事で、毎日体重を測りそれより増加していればエネルギー源(糖質・脂肪)を減らせばよいのです。糖質は体に蓄積できず、余分に入ると脂肪に変化して体についてしまいます。肉魚と大豆で一日二五〇〜三〇〇gとりたいです、野菜は五〇〇g位は食べて欲しいです。適性体重を越えたら糖質、脂肪を控えればよいのですから。人間は八十才までに五〇tの食物をとり、それは六、〇〇万kcalのエネルギー源となります。それだけ地球上の動植物を食い荒らして生きていくのです。それを考えると「定年だから好きな事をするわ」というのは、あまりにもおこがましいと思います。きょうからでも「私の出来る事はないだろうか」と考えて生きて欲しいものです。



下高根沢 関本 淳子

最近、マスコミ等で少年犯罪の多発が報道されており、その度に悲痛な思いにかられています。

演題にとっても感心をもって出席しました。現在の食のあり方と食の大切さを、研究やアンケート等から話されました。最後に、「心身共に健全で将来に夢と希望をもつ子供たちが地域にあふれることを願います」と、講演を終えられました。



祖母井 小玉一七子

講演を聴いて

子供が切れるのは、家庭環境やカルシウム不足による場合が多く、栃木県は、海なし県で魚の摂取量が少ないのではないかと、という話を聞くと、よい子に育てるには、まず、食事の配慮が大切であると思いました。



下高根沢 黒崎 正子

私はこの講演を聞いて、食する事の重大さを痛感しました。そして、食事に携わる者として今までの食事習慣を見直し、栄養面やカロリー面を考え、よりよく生きるための食事作りに励みたいと思いました。



五月二十七日(土) 町民会館研修室において、森町長、小堀議長、吉永教育長のご臨席をいただき、各女性団体三名の代議員、計四十一名の出席者により開催されました。この会は平成十一年十一月二十日に設立総会を行い、町内に組織する十一の女性団体により発足、通称「かがやく女性の会」としました。活動内容は、先進地視察研修、女性のつどいの開催、広報紙「かがやき」の発行、町内施設見学、男女共同参画社会に関する意識調査などです。これまでご支援いただいた町、関係機関の方々に更なるご指導を受け、会員が協力し合って活動をしています。

平成十二年度

芳賀町女性団体連絡協議会

(かがやく女性の会)総会

女性団体の役員が決まりました。

| 役職  | 氏名     | 団体名          |
|-----|--------|--------------|
| 会長  | 黒崎 幸恵  | 芳賀町ひばりの会     |
| 副会長 | 吉永 タイ子 | 〃            |
| 書記  | 小筆 公子  | 芳賀くらしの会      |
| 〃   | 田川 典子  | 芳賀町商工会女性部    |
| 〃   | 野澤 静子  | 町生活改善クラブ協議会  |
| 〃   | 飯田 久美子 | 事務局          |
| 会計  | 菅谷 与志子 | JAはが野芳賀地区女性会 |
| 〃   | 小堀 光子  | 芳賀町商工会女性部    |
| 理事  | 田中 ハマ子 | 〃            |
| 〃   | 堀 テル   | 芳賀町食生活改善推進員会 |
| 〃   | 福田 タカ子 | 〃            |
| 〃   | 杉山 美好  | 更生保護婦人会      |
| 〃   | 鈴木 ヨネ  | 〃            |
| 〃   | 富樫 玲子  | 〃            |
| 〃   | 山本 妙子  | JAはが野芳賀地区女性会 |
| 〃   | 黒崎 イツ子 | 〃            |
| 〃   | 小島 洋子  | 町女性DC連絡協議会   |
| 〃   | 大根田 藤枝 | 〃            |
| 〃   | 岩崎 時枝  | 〃            |
| 〃   | 鈴木 正子  | あじさいの会       |
| 〃   | 大関 禮子  | 〃            |
| 〃   | 齋藤 芳子  | 芳賀くらしの会      |
| 〃   | 山本 カネ子 | 〃            |
| 〃   | 網川 久美子 | 町生活改善クラブ協議会  |
| 〃   | 小林 元子  | 芳賀町ひばりの会     |
| 〃   | 島田 千枝子 | 町婦人防火C連絡協議会  |
| 〃   | 関谷 喜久子 | 〃            |
| 〃   | 石崎 孝子  | 〃            |
| 〃   | 山本 恵美子 | 日本赤十字奉仕団     |
| 〃   | 荒井 三津子 | 〃            |
| 〃   | 菅原 キン  | 〃            |
| 〃   | 荒井 美智子 | 芳賀町食生活改善推進員会 |
| 〃   | 小林 恭子  | 町生活改善クラブ協議会  |

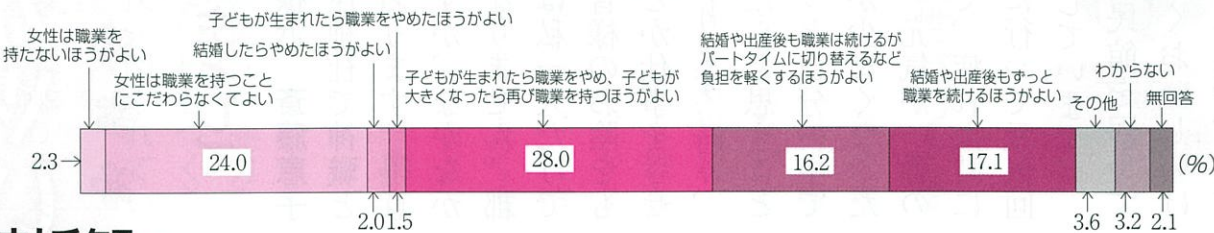
(平成12年6月14日現在)

芳賀町女性団体及び事務局二覧表

| 女性団体名        | 団体長名                            | 担当事務局                                             |
|--------------|---------------------------------|---------------------------------------------------|
| 芳賀町商工会女性部    | 田川 典子<br>祖母井738<br>677-0109     | 商工会 祖母井1080<br>677-0144<br>担当者 大嶋 和子              |
| 食生活改善推進員会    | 荒井美智子<br>東高橋399<br>678-0638     | 保健福祉課 芳賀町役場内<br>677-6042<br>担当者 星 紹子              |
| 更生保護婦人会      | 杉山 美好<br>西水沼1780-1<br>678-0240  | 保健福祉課 芳賀町役場内<br>677-1112<br>担当者 磯 叔以              |
| JAはが野芳賀地区女性会 | 菅谷与志子<br>西高橋2650<br>678-0549    | JAはが事業所 祖母井1075<br>677-0080<br>担当者 南雲美智子<br>水沼 和子 |
| 町女性DC連絡協議会   | 小島 洋子<br>西高橋3606<br>678-1821    | 総務課 芳賀町役場内<br>677-6029<br>担当者 野澤由紀子               |
| あじさいの会       | 鈴木 正子<br>祖母井1497<br>677-3965    | 社会福祉協 祖母井297-1<br>677-4711<br>担当者 中村久美子           |
| 町生活改善クラブ協議会  | 野沢 静子<br>下延生720<br>677-2449     | 農政課 芳賀町役場内<br>677-6017<br>担当者 石崎 孝子               |
| 芳賀くらしの会      | 斎藤 芳子<br>東水沼552-3<br>677-2352   | 商工観光課 芳賀町役場内<br>677-1115<br>担当者 平野多喜子             |
| 芳賀町ひばりの会     | 小林 元子<br>東高橋3155<br>678-0206    | 町公民館 町民会館内<br>677-0009<br>担当者 飯田久美子               |
| 町婦人防火C連絡協議会  | 島田千枝子<br>芳志戸1952-3<br>677-3223  | 総務課 芳賀町役場内<br>677-6029<br>担当者 野澤由紀子               |
| 日本赤十字奉仕団     | 菅原 キン<br>下高根沢1044-1<br>677-0269 | 社会福祉協 祖母井297-1<br>677-4711<br>担当者 阿久津のり子          |

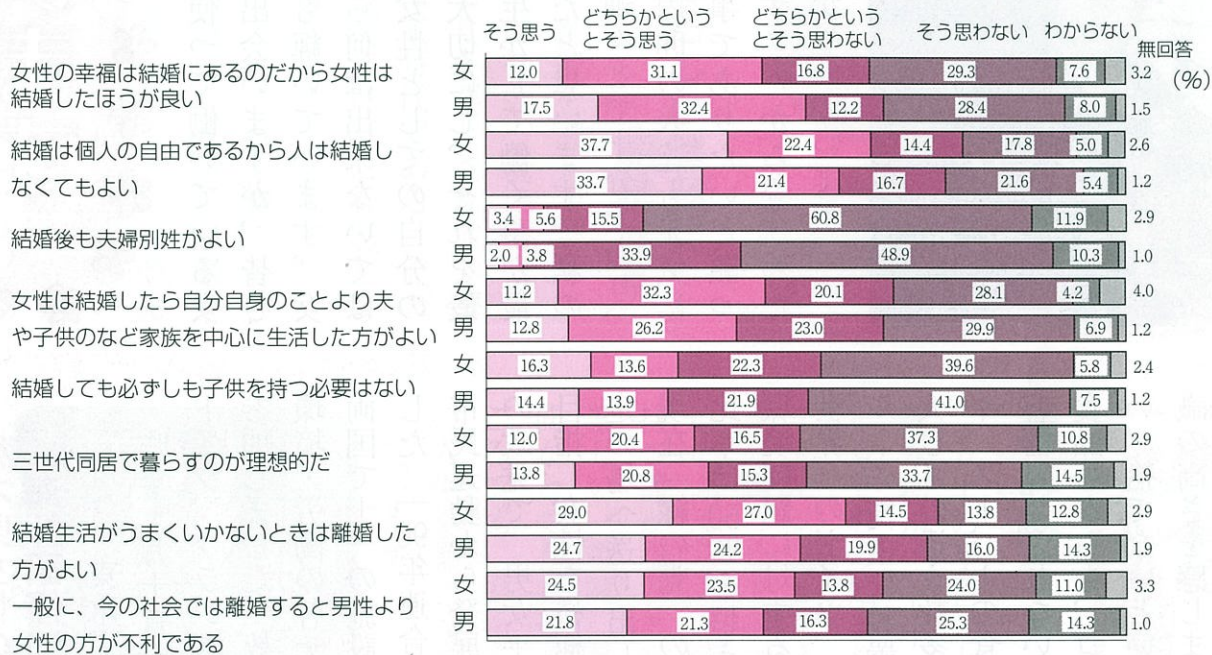
## 女性が職業を持つことへの評価

女性が職業を持つことについては、「子どもが生まれたら職業をやめ、子どもが大きくなったら再び職業を持つ方がよい」が28.0%と最も多く、ついで「女性は職業を持つことにこだわらなくてよい」の24.0%となっている。「女性は職業を持たないほうがよい」「子どもが生まれたら職業をやめたほうがよい」「結婚したらやめたほうがよい」と、否定的な考えの人は合わせて5.8%と低くなっている。



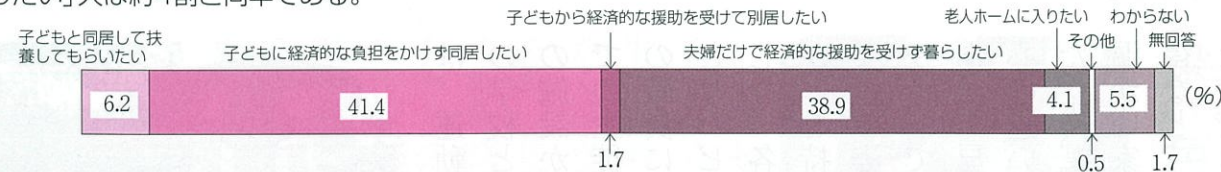
## 結婚観

全体的には男女の差はそれほどない。興味深いのは『結婚後も夫婦別姓がよい』で「どちらかというと思う」と答えた女性が15.5%なのに対し、男性は33.6%もいることと、また、『女性は結婚したら自分自身のことより家族を中心に生活した方がよい』と思う男性が26.2%なのに対し、女性は32.3%もいることである。



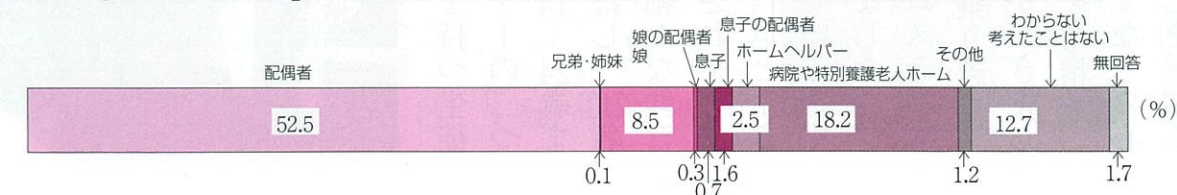
## 豊かな老後を送るためにしたいこと

「子どもに経済的な援助を受けたい」と思う人は合わせて7.9%と低く、「経済的な負担をかけたくない」と思う人は合わせて8割を越えている。また「経済的な負担をかけず同居したい」と「経済的な負担をかけず夫婦だけで暮らしたい」人は約4割と同率である。



## 寝たきりになったときの身の回りの世話

約半数の人が「配偶者」に世話してもらいたいと考えている。次いで「病院や特別養護老人ホーム」の18.2%、「わからない・考えたことはない」の12.7%と、子供たちに迷惑をかけたくないという親心がうかがえる。



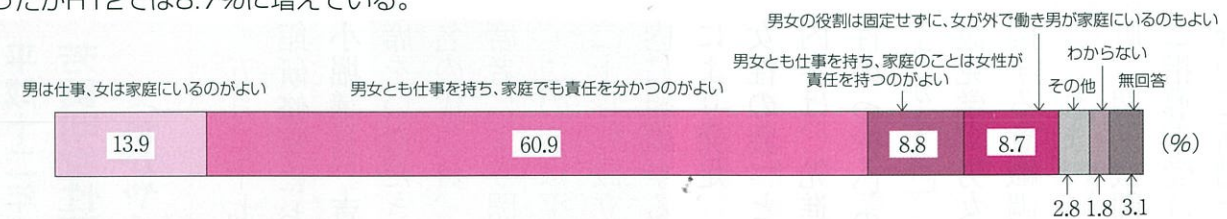
## 男女共同参画社会に関する意識調査

H12年7月、町民の20代から60代の男女1000人を対象に調査しました。このアンケートは芳賀町における女性のおかれている現状と男女共同参画社会の形成状況について、町民の意識を明らかにするとともに、男女共同参画社会の実現に向け解決すべき問題点を把握するために実施したものです。

ここでは、前回のアンケート結果(H7)と比べながら、主な結果を紹介します。

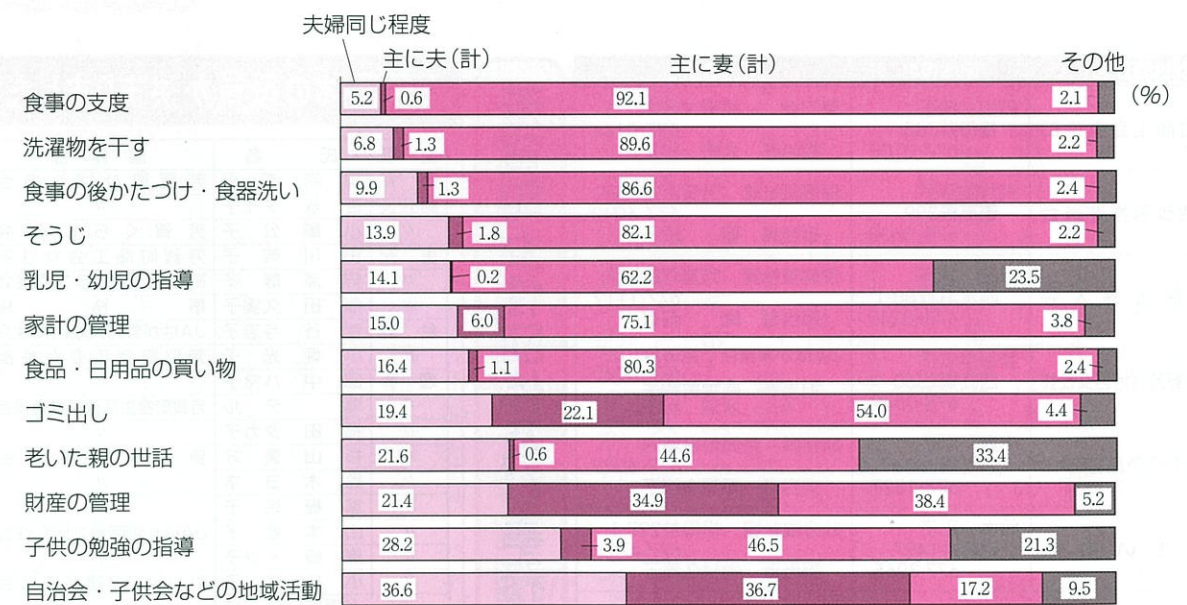
## 男は仕事、女は家庭という考え方

「男は仕事、女は家庭」という考え方をする人が、H7年では18.1%だったのに対し、H12年では13.9%と少なくなっている。また、「男女の役割は固定せずに、女が外で働き男が家庭にいるのもよい」がH7では4.2%だったがH12では8.7%に増えている。



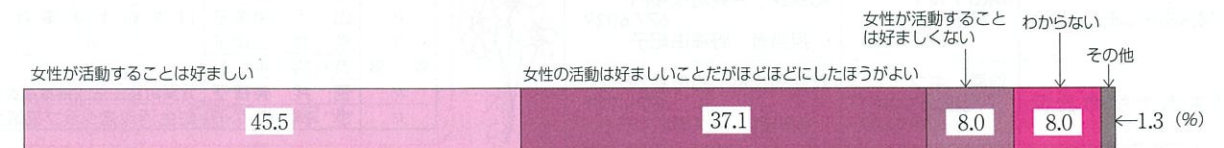
## 家事の分担について

ほとんど項目で『妻』の分担割合が高くなっており、「食事の支度」ではその割合は9割をこえている。また、「洗濯物を干す」「食事の後片付け・食器洗い」「そうじ」が8割台で続いており、いずれも高率となっている。しかし、「財産の管理」では、『妻』と『夫』の割合が3割と同じで、「自治会・子供会などの地域活動」では『妻』より『夫』の方がその割合は高くなっている。



## 男女の社会参画

女性が地域社会のために活動することについて、「活動することは好ましい」と思う人は、H7年では55.8%いたのに対し、H12年では45.5%と約10ポイントも減っている。「ほどほど」「好ましくない」を合わせるとH7年は34.3%、H12年は45.1%と、否定的な考えの人が増えていることが分かる。



# かがやいています

## 女性の神主として

下高根沢 斎藤恵子

私は芳賀安住神社で神職として奉仕しております。得意分野は絵画ですが、なかなか思うようにはなりません。郡内で女性神職は私一人だけですが、地域の皆様のお陰をもちまして、何とか仕事をさせていただいております。時々、体が三つあったらと思うこともあり、ボーッと自分の中で思考する時間が少なくなったのは残念です。元気が一番の取り柄ですので、疲れた時にはロマンの湯に行つて元氣回復をする事にしています。

仕事で各公民館を回っていると、すごくおいしいけんちん汁を作る方や、とて

も氣を使つて働いている女性達に出会いますが、皆さんとても輝いています。女性だから何は出来ないではなく、女性としての自分の個性を大切にし、それを最大限に生かして働く事が最も重要だと思います。私の輝きは細々とで十分であり、同時に周囲の人達も元氣に出来る事でありたいと願っています。だから今、わたし、かがやいています。



## 栃県女性の海外研修に参加して

東水沼 小筆公子

昨年十月十日から十日間、ドイツ、フランスでの研修に参加しました。教育・福祉・環境・労働の各テーマのもと両国で十一の施設を訪問しました。「90年連合緑の党」は市民運動から発展したドイツの政党で、男女平等の実現を目指し女性を積極的に政策決定の場へ送り出しています。現在「緑の党」の女性議員の比率は50%を超えています。環境問題に対する取り組みも世界一のドイツ、フランクフルトの街中に設置された型、大きさの違う数多くのゴミ箱や、スーパーの食料品売場の容器包装されない量り売りの食品等からも、ゴミを出さない、捨てないという国民の意識の高さを感じました。フランスの「国立職業訓練学校」



は、運動機能障害を持つ生徒の学校とケアセンターの二つの施設からなり、14、24歳までの生徒210名が在籍し、240名の職員によりきめ細かな教育とリハビリが実施されています。各施設で、自信と生きがいを持ち活動している輝く女性の姿に感動しました。フランスでは、ホームステイもあり、言葉の壁など乗り越え、心の通い合う交流ができました。古い物を大切にする精神、温かい家族愛、もてなしの心得など、多くのことを学ぶことができ、感謝しています。



下延生 野澤重雄

## 女性パワーを

男性は外で働き、女性は子育て・介護など家庭を守る思想の社会が長く続きましたが、少子化が進み、経済情勢が大きく変わってきました。今や、性別に関係なく互いに尊重し合いなが

ら、それぞれの個性や能力を発揮し、住みよい社会づくりに向かって転換が図られています。種々な男女共同参画の事業が企画されていますので、積

極的な参加交流を深めるとともに、自主的サークル活動など促進し、地域活動の推進役として活躍されることを期待しています。



祖母井 小玉裕一

## すばらしい笑顔に期待する

二十一世紀を迎え、これらの女性は社会、経済、政治活動により必要とされて、輝きを増す時代である。その波が、わが芳賀町にも形となり押し寄せてきている。

ひたむきに、目を輝かせ純粹に諸問題に取り組む姿勢にはとても感心し、そして恐るべき「ウーマンパワー」という思いである。これから素晴らしい笑顔が見たいものだ。

## 仲よく楽しんでいます

### 編み物

下高根沢 斎藤勢津子

五十の手習いとして始めた編み物が二十年になります。そもそもの始まりは老後の楽しみとの思いでした。一本の糸の織りなす綾に魅せられて心のふくらみも芽生え、針を持つ静かなひと時がこよなく楽しい。趣味に集中出来る時間がとても有難く思えるこのごろです。糸を友として残りの人生を楽しく生きようと思っています。



## 染色

下高根沢 斎藤 紀美



平成七年益子町の日下田さんの工房を訪ねた折、先生の染め上げた草木染の温かく深みのある色合いに魅せられ、何度か伺つては蓬や茜の染色技術のご指導を受け、やっと自分の手で染め上げた毛糸を斎藤勢津子さんに編んでいただき、光線の具合で微妙に変化する色合いを楽しんでいます。これからは原毛を自分で紡ぎ、温かく深みのある世界に二つとないオリジナル毛糸が作れたらと夢を膨らませています。